

Glocal Tenri



月刊 グローカル天理

Monthly Bulletin Vol.23 No.9 September 2022

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University

9

CONTENTS

・卷頭言

教えが国を越えるということ

／永尾 教昭 1

・天理教の異文化伝道と「文化」の「翻訳」 (新連載)

本連載の目指すもの

／加藤 匡人 2

・台湾の社会と文化一天理教伝道史と災害民族誌（9）

戦前台湾における個人的伝道（2）

／山西 弘朗 3

・社会福祉からみる現代社会一天理教の社会福祉活動に向けて一（4）

社会福祉は、どのようにして生まれたのか—近代社会の成立—

／深谷 弘和 4

・現代宗教と女性（36）

「行き過ぎた」フェミニズム

／金子 珠理 5

・コロンビアへの扉—ラテンアメリカの価値観と教えの伝播—（23）

6. コロンビアの日常4：家族の実態その1

／清水 直太郎 6

・ニューヨーク通信（14）

ニューヨークセンターの活動

／福井 陽一 7

第350回研究報告会／連載執筆のねらいと執筆者紹介／2022年度公開教学講座のご案内

卷頭言

教えが国を越えるということ

おやさと研究所長 永尾教昭 Noriaki Nagao

一般に日本語で「〇〇教」という場合、者はアメリカの法律に明るいわけではなく2つの意味があると思う。一つは「キリスト教」「仏教」などで、今一つは「天理教」「金光教」などの場合である。

前者はイエス・キリストや釈迦が開いた教えという意味であり、後者も同様に天理教祖、金光教祖が開いた教えという意味があるが、これに加えて「天理教団」、「金光教団」という意味もある。

別の言い方をすると、キリスト教という宗教はあるが、キリスト教という名の教団はない。教団というのは、信者全体が組織的に纏まって一つの統治機構があるものを指すのだと思う。言うまでもなく世界のキリスト教徒や仏教徒が一つの組織として統率されているわけではない。教団となると、キリスト教の場合カトリック、ギリシャ正教、聖公会などとなると思う。プロテスタントはもともと信者間のヒエラルキー的なものを嫌い、組織的なものを否定したが、現在は〇〇派などと教団として組織されているものも多い。仏教も同様で、教団となると日本ならば浄土宗とか日蓮宗となる。そしてキリスト教も仏教も、それぞれの中にさらに「△△派」「△△会」などと細分されているケースもある。

キリスト教、イスラム教、仏教は世界三大宗教と言われる。ただそれは、一つの教団ではなく、イエス、ムハンマド、釈迦が述べた教え（宗派によって多少の違いはあるが）、英語で言う「…ism」が世界に伸びているのである。教団として国境を越えて世界に伸びているものは、厳密にはカトリックだけではないだろうか。

天理教にとって、これは重要な問題だろう。天理教の海外布教は、天理教団が世界各国に伸びていくことを目指しているのであるが、教団のルールは時としてその国の法律とぶつかることがある。筆

いが、一つの例を上げれば、アメリカの天理教会で法人格を持っているところもあるだろう。いわゆる民主主義国のルールでは、法人の長は通常、構成員の議決で選ばれなければならないと思う。しかし、アメリカの教会长はしばら許して任命されている。本来、他の機関が、ある国に存在する法人の長を決めるることはできないと思う。

「いや、何もそんな硬いことは言わなくて、教祖中山みきの教えが広まっていけば良いのであって、教団として世界に拡張していく必要性はない」という考え方もあるだろう。ちょうどキリスト教や仏教の教えが世界に広まっていたように。そうなると各国各地で、教えは変えないが、それぞれ独立した組織として運営していくべきとなる。そして、管内教会長も自分たちで任命する。

しかし、すでに述べたように天理教の場合、ほとんどすべての事柄は、しばら、言い換えれば天理教教会本部で行われる「事情運び」で許可される。しかもそれは、教団が運営上そのように取り決めたというよりは、「しばらの理」と呼ばれる教義、言い換えれば教えなのである。しばらの理、つまり神の許しもなく教長が任命されたり祭典を勤めることはできない。もしそうなれば、その事自体がすでに教えを逸脱したことになる。つまり、上記に記したように「教えは変えないが」としながら「管内教会長も自分たちで任命する」ことは、教えを変えているという矛盾したことになるのだ。

そういう意味では、天理教の教えが広がっていくということは、すなわち教団として世界各国に拡張していくということにならざるを得ない。そのためには、カトリックが世界に展開していった苦難の史実を学ぶことは極めて重要だろう。